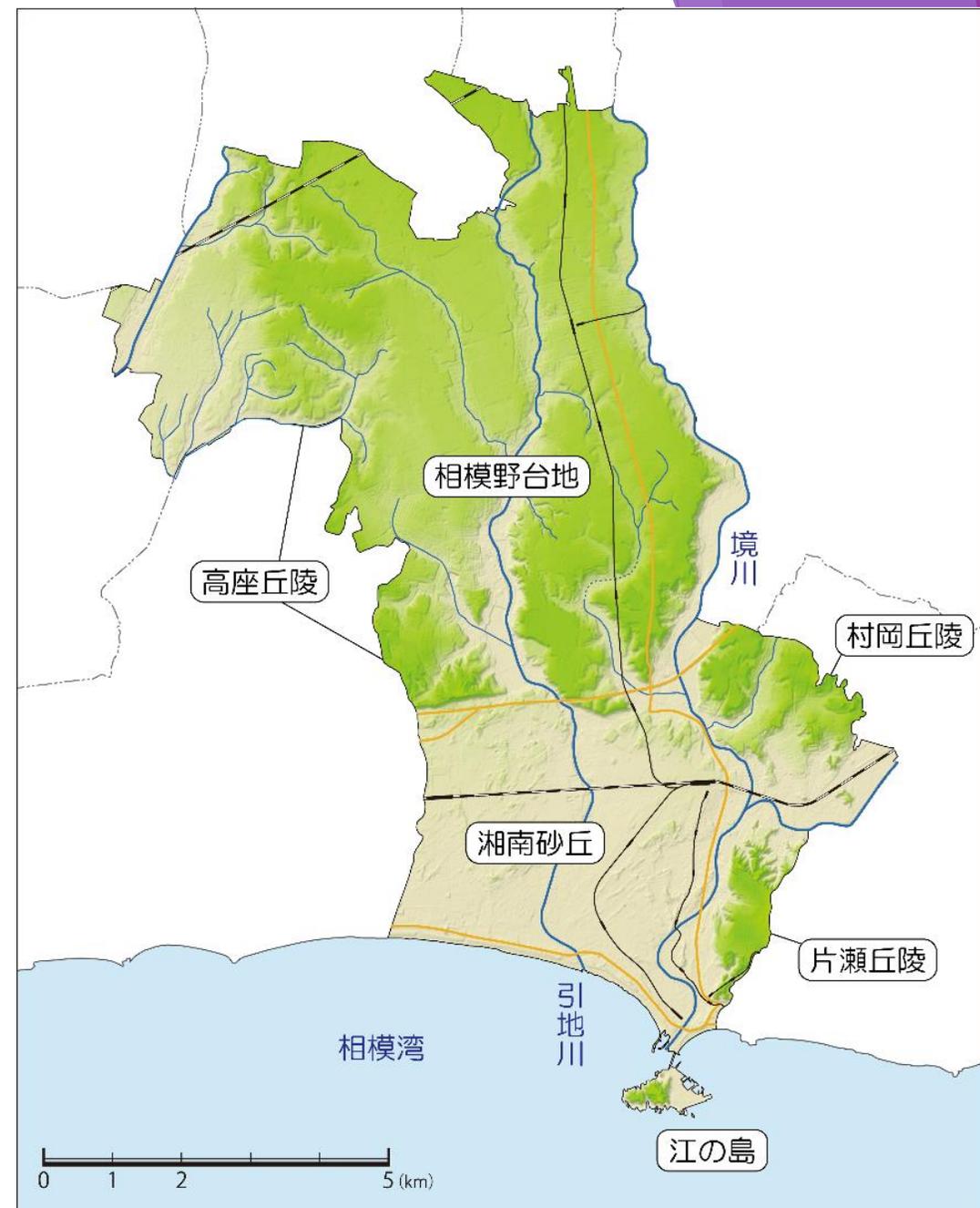


藤沢市の歴史の概要

藤沢市生涯学習部郷土歴史課

藤沢市の地形

- ▶ 大きく南北に分けられる
→北部：台地（相模野台地）
南部：砂丘（湘南砂丘）
- ▶ 北西部と南東部の一部は丘陵
→北西部：高座丘陵
南東部：片瀬・村岡丘陵
- ▶ 海へと注ぐ複数の河川
→境川、引地川etc.



藤沢市の地形

藤沢市の歴史－人類の到来

- ▶ 藤沢市域で最も古い人類の痕跡
→約35,000年前の石器
...大庭・石川で出土
- ▶ 旧石器時代の遺跡は市内の各地に点在
...北部の台地上で遊動生活
→キャンプ地として適していた



藤沢最古の石器（石斧）



藤沢市の歴史－定住の始まり

- ▶ 約15,000年前～ 縄文時代
→定住を開始 石川や遠藤で住居跡
- ▶ 江の島の頂上にも集落が営まれる
...約13,000年前
- ▶ 縄文海進：遠藤や西俣野あたりまで海
→漁労関係の遺物が出土



江の島頂上の集落跡



藤沢市の歴史－定住の始まり

- ▶ 縄文後期：貝塚が形成
→西富・川名・遠藤
...相模湾岸では希少な例
○【板状土偶】
- ▶ 台地上に多くの遺跡
...わずかに低地にも進出
- ▶ 晩期になると遺跡数が激減



西富貝塚出土の土偶

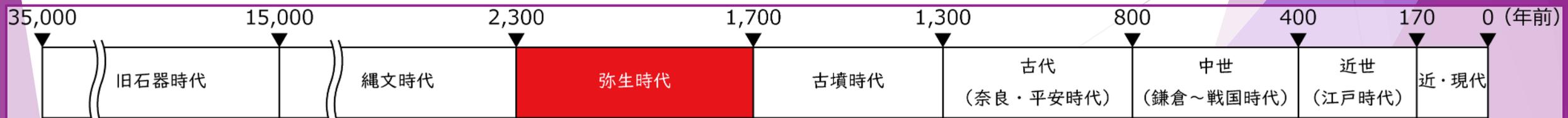


藤沢市の歴史－集落の大規模化

- ▶ 弥生時代中期、遺跡数が回復
...本藤沢などに大規模な集落
→数百軒の住居（同時ではない）
○【絵画土器】
- ▶ 後期～古墳時代初頭にかけての集落
→台地上を中心に展開
...下土棚、大庭、西富



稻荷台地遺跡群出土の絵画土器



藤沢市の歴史－低地への進出

- ▶ 古墳時代中期以降、砂丘地帯にも集落が続々と形成
→若尾山、鵜沼など
- ▶ 南部の丘陵：横穴墓が多く造られる
...県内でも有数の規模
→威信財も出土 = 首長墓か
○市指定文化財【金銅装単鳳環頭大刀】



川名に存在した横穴墓群

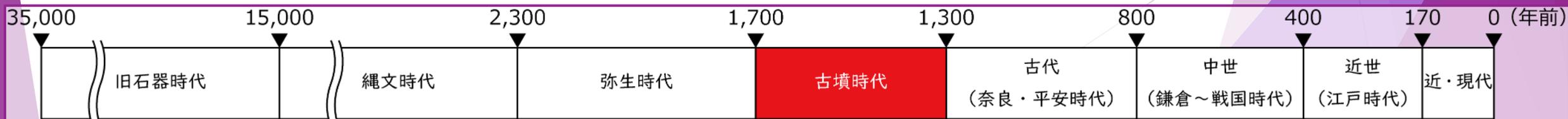


藤沢市の歴史－低地への進出

- ▶ 古墳時代中期以降、砂丘地帯にも集落が続々と形成
→若尾山、鵜沼など
- ▶ 南部の丘陵：横穴墓が多く造られる
...県内でも有数の規模
→威信財も出土 = 首長墓か
○市指定文化財【金銅装単鳳環頭大刀】



川名出土の金銅装単鳳環頭大刀（部分）



藤沢市の歴史－拠点集落の展開

▶ 奈良時代の藤沢市域

→高倉郡と鎌倉郡

...大庭郷、土甘郷、方瀬郷

○市指定文化財【土甘銘刻書土器】

▶ 郡内には各地に拠点的な大集落

→南鍛冶山遺跡

○市指定文化財【人面墨書土器】



内底面

鵜沼出土の土甘銘刻書土器



藤沢市の歴史－拠点集落の展開

- ▶ 奈良時代の藤沢市域
→ 高倉郡と鎌倉郡
...大庭郷、土甘郷、方瀬郷
○市指定文化財【土甘銘刻書土器】
- ▶ 郡内には各地に拠点的な大集落
→ 南鍛冶山遺跡
○市指定文化財【人面墨書土器】



南鍛冶山遺跡



藤沢市の歴史－拠点集落の展開

- ▶ 奈良時代の藤沢市域
→高倉郡と鎌倉郡
...大庭郷、土甘郷、方瀬郷
○市指定文化財【土甘銘刻書土器】
- ▶ 郡内には各地に拠点的な大集落
→南鍛冶山遺跡
○市指定文化財【人面墨書土器】



南鍛冶山遺跡出土の人面墨書土器



藤沢市の歴史－大庭御厨の成立

- ▶ 1117年、鎌倉権五郎景政が所領を伊勢神宮に寄進
→大庭御厨の成立
...藤沢市の中南部・茅ヶ崎市のほぼ全域
(北部は渋谷庄)
- ▶ 大庭郷、俣野郷、鶺沼郷
...現代にも地名が残る



大庭引地遺跡出土の天目茶碗

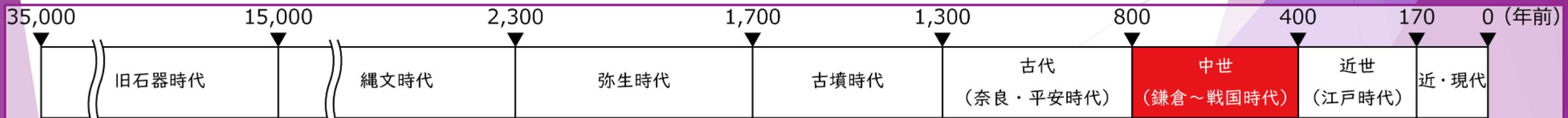


藤沢市の歴史－武士の時代

- ▶ 源義朝の鵜沼濫行事件
- ▶ 大庭景親の盛衰
...字「城」など現在も地名に名残
- ▶ 源頼朝の江の島参詣
→江の島への武士の信仰
- ▶ 清浄光寺が藤沢に創建



浮世絵に描かれた大庭景親と源頼朝



藤沢市の歴史－大庭城の築城

- ▶ 相模国守護・扇谷上杉氏
→大庭城を築城、拠点とする
- ▶ 引地川と小糸川に挟まれた舌状台地
...天然の要害
- ▶ 現在も堀や土塁などが残る
...発掘調査では建物の跡なども確認



現在の大庭城跡（大庭城址公園）

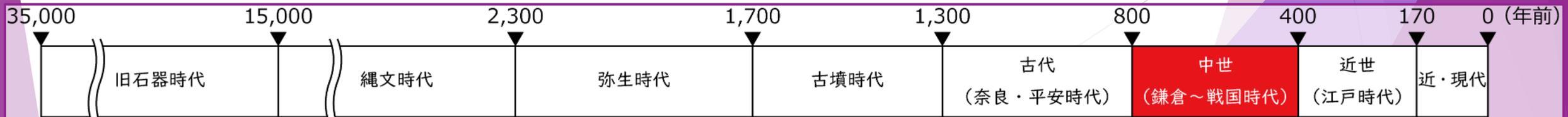


藤沢市の歴史－小田原北条氏の時代

- ▶ 1512年：大庭城落城
 - 【舟地蔵伝承】
 - 以降、小田原北条氏の支配下に
 - ...玉縄城が築かれると大庭城は廃れる
- ▶ 藤沢に北条氏直属の大鋸引きの集落
 - その後、伝馬の宿駅としての機能も
- ▶ 江の島の禁制
 - 北条氏による保護

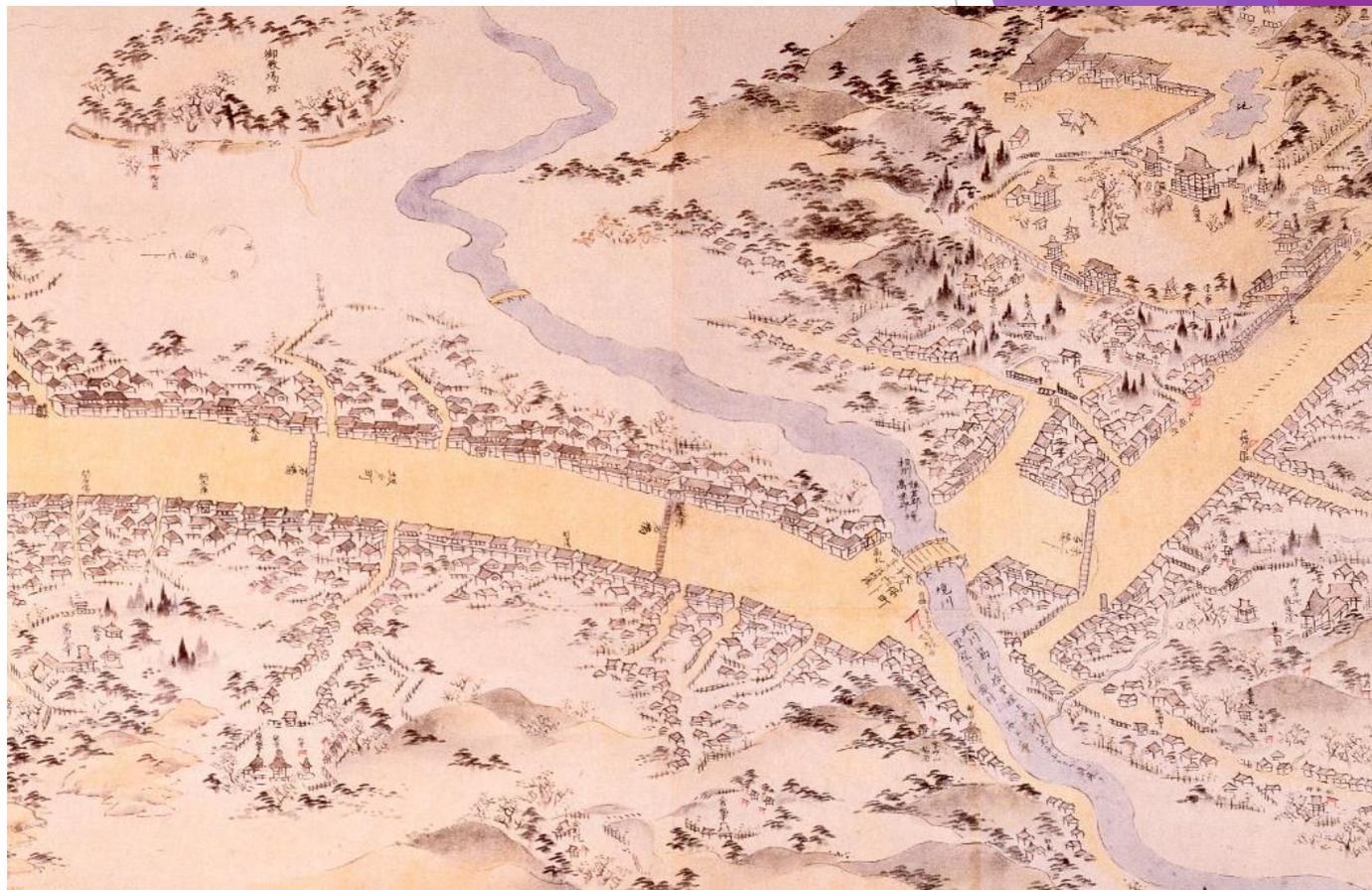


大庭城近くにある舟地蔵



藤沢市の歴史－藤沢宿の誕生

- ▶ 1601年、徳川家康の命により藤沢に宿場が置かれる
→東海道6番目の宿場：藤沢宿
...将軍の宿所である御殿も整備される
- ▶ 浮世絵にも多く描かれる
→東海道の名所
...遊行寺、江の島一の鳥居など



東海道分間延絵図 藤沢 (部分)



藤沢市の歴史－江の島詣と藤沢宿

- ▶ 江戸中期以降：旅の流行
...大山参りと江の島詣
→中継地点として藤沢宿が賑わう
- ▶ 弁財天信仰の浸透
→江戸から近い江の島は一大名所に
○市指定文化財【江の島弁財天道標】



歌川広重『東海道五拾三次之内 藤沢（保永堂版）』



藤沢市の歴史－近・現代の藤沢

- ▶ 藤沢宿周辺→商人の町へ
...街道の中継地点、蔵の町
○国登録有形文化財【旧桔梗屋】ほか
→関東大震災の被害で現在の姿に
- ▶ 江の島電鉄など、交通機関の整備
- ▶ 外国人の活動：モース、コッキング



旧桔梗屋 店蔵



藤沢市の歴史－近・現代の藤沢

- ▶ 戦時下：各地に軍需工場や基地
...江の島の砲台、稲荷の飛行場など
- ▶ 戦後：進む観光開発
...東京オリンピックの開催
→江の島ヨットハーバーの整備



現在の江の島

